

令和元年度 第2回四日市市文化財保護審議会 議事録概要

日時：令和2年1月17日（金）

14：00～15：15

場所：四日市市役所 11階職員研修室

【出席者】

桐生 定巳 会長 上野 秀治 副会長 武田 明正 委員 木村 裕之 委員 鬼頭 秀明 委員
久志本 まどか 委員 神野 恵 委員 井上 喜久男 委員 瀧川 和也 委員 清水 弘子 委員
事務局：松岡副教育長 社会教育・文化財課：川尻課長 葛山課長補佐 清水 石毛 山根 堀越

【傍聴者】

なし

1. 開会

事務局：委員13名中、本日の出席者10名であり、過半数に達しているため、四日市市文化財保護審議会運営規則第6条の2より、会議が成立していることをご報告します。なお、加田委員につきましては、辞任届が提出されましたので、受理しましたことをあわせて報告します。現在、傍聴者はいません。

また、本日の事項書のうち、「4 協議事項」の（3）及びその他については、文化財の指定に関わる案件であり、個人情報の含まれることから、非公開としてよろしいか。

委員：（了承）

2. 副教育長挨拶

3. 報告事項

（1）令和元年度文化財保護事業について（報告）

（「令和元年度文化財事業報告」参照）

事務局：11月18日（月）、12月11日（水）に四日市市文化財保護審議会委員会天然部会を行いました。

主に御池沼沢植物群落の環境保全につきまして、文化庁の調査官（12/11のみ）、桐生会長、武田委員、木村委員にご協議いただきましたことを付け加えさせていただきます。

会長：令和元年度文化財保護事業について報告がありました。質問等ございますか。

委員：（質疑等なし）

（2）令和2年度文化財保護事業について（予定）

（「令和2年度文化財事業計画」参照）

事務局：久留倍の史跡整備についてですが、一部来年度に延期しています。歴史公園のオープンにつきましては、予定どおり秋に行いたいと考えております。ただ、観月会を予定しておりますので、11月と書いてありますが、開催日程は未定です。

また、鳥出神社の鯨船行事の事前学習会についてですが、本年度もサポーター講座を開催し、体験と見学ツアーを企画（荒天により行事中止）いたしました。参加者が比較的少なかった

こともあり、来年度は行事当日の午前中に事前の学習会を行ってから、見学してもらおうと考えています。

文化財ホームページにつきましては、現在の四日市市のホームページにも文化財を紹介するところはあるのですが、検索しにくいというご意見もあって、文化財に関するホームページを新たに作成して、わかりやすく閲覧できるようにしたいと考えています。

会長：令和2年度文化財保護事業について報告がありました。質問等ございますか。

くるべ古代歴史公園植栽の樹種は決まっていますか。

事務局：万葉植物を中心としたいくつかの候補はあがっています。

会長：元来日本にある植物を植えるということで、外来植物を植えるわけではありませんね。

事務局：はい。歴史公園にふさわしい植物を植える予定です。

委員：久留倍官衙遺跡に行きたいけれども、行き方がわかりづらいという声を聞いたが、道路に案内板を立てる計画はありますか。

事務局：はい。歴史公園がオープンするまでには、案内板を立てる予定です。ただ、北勢バイパスにつきましては国道ですので、案内板設置は難しいです。

委員：文化財保存活用地域計画策定につきまして、御池沼沢植物群落のような天然記念物についても、植物の開花時期や動物・昆虫の様子などが書かれたリストを公表できるといいと思います。

事務局：現在のホームページにも開花時期について掲載されているのですが、来年度作成しようとしている文化財ホームページでも、御池沼沢の四季ごとの植物の様子とリアルタイムでの様子がわかるようにしたいと考えています。ご意見いただいた動物や昆虫の様子についても検討したいと思います。

会長：御池沼沢のパンフレットがありましたね。地図のようなものもありましたね。ホームページもいいのですが、観察会の際に参加者に見てもらうための配布物があるといいですね。不足しているようであれば増刷してください。

事務局：ご意見いただいたことを踏まえて、配布物の内容についても検討したいと思います。

委員：平城宮にも湿地が多く、いろんな動植物がいます。発掘調査をしようとする、「そこは稀少植物があるので調査しないでほしい」「その時期は動物がいるので調査しないでほしい」という嘆願書が出されることがあります。ホームページ等で稀少植物の紹介をすると、かえって盗難に合う可能性も出てくると思われるのですが、そうした被害はこれまでなかったのですか。

事務局：観察路外から観察されることもあったようです。しかし、活用という面から、市民に天然記念物の存在を知ってもらうことも必要なことと考えています。保存と活用との均衡をどう保つか難しい課題であると思います。

4. 協議事項

(1) 文化財保存活用地域計画について

会長：(1)「文化財保存活用地域計画について」事務局お願いします。

事務局：協議資料1をご覧ください。【協議資料1】「四日市市文化財保存活用地域計画の策定について」参照)

会長：協議会メンバーは何人を予定していますか。

事務局：構想段階ですが、多方面の方に参画いただいて、10名前後を考えています。

会長：他に質問等ございますか。

委員：文化財保存活用地域計画策定にあたって、ストーリー性がよく話題になりますが、例えば“東海道”を挙げるのであれば、他市町ともストーリーを合わせる必要があると思いますが、どのように考えていますか。

事務局：現時点では、四日市市だけの作成を考えています。

委員：どの程度の悉皆調査を考えているのですか。

事務局：四日市市は市史を作成していますので、それを基にして文化財のデータベースを作成したいと考えています。他に各地区の冊子などから拾い上げる程度で、大掛かりな調査は予定していません。調査期間を短縮させることで、2年間での策定を計画しています。策定後も調査は継続し、計画も見直しを行っていきたいと思っています。

(2) 北勢四市文化財協議会について

会長：「(2) 北勢四市文化財協議会について」をお願いします。

事務局：本市における今後の北勢四市文化財協議会継続についてご意見いただきたい。

会長：参加されたことがある委員の方からご意見をください。

委員：今回の協議会には参加させてもらいますが、その目的は、伊勢国分寺がどうなったのかということに興味があるからです。考古学の担当としてそうしたものを見学する機会があっても、保護審議会委員として他市の文化財に携わることがないので、それぞれの委員が他市の文化財を知るいい機会だと考えています。

委員：私は、鈴鹿市の文化財調査委員もさせてもらっています。協議会の本来の目的もある程度達成されていることと、それにかかる事務局の負担も大きいということから、鈴鹿市としては脱会の選択をしたというところでは。

委員：北勢四市文化財協議会は、文化財保護審議会委員だけが参加しているので、他市の様子を市民が知る機会がないことが残念と考えていました。他市の様子を知る機会を市民にも与えてほしいと思っています。私は、そういう意味も兼ねていると考えています。

委員：参加する立場としては、他市の様子を知ることができていいと思っていましたが、企画する事務局側は大変だろうと思います。いろんなことを簡略化しようとする流れの中で、半分は協議会がなくなっても仕方がないと思いつつ、県レベルの情報交換の場はあったとしても、四市の連携がなくなってもいいのかなという思いもあります。

会長：これまでの協議会は、私の専門外のことが多かったですし、協議会の内容が今後につながるのかと疑問に思うところもありました。意見交換だけでなく、いろんなところを見学できたのはよかったですと私も感じています。ただ、鈴鹿市が抜けて三市だけで続けてもどうかと思って、個人的には区切りをつけてもいいのではないかと思います。

委員：天然記念物関係でも四市共通のものがあれば意義はあるかなと思います。私としては、むしろ県全体でそれに代わる会が発足すれば参加しやすいと思います。

会長：今回いただいた意見を参考にしてもらって、事務局に預けるといことでよろしいか。

事務局：保護審議会委員の考えが基本であって、事務局が判断することではないと考えておりますが、鈴鹿市外の他二市の様子も踏まえつつ、今回いただいた委員の方々の意見をもって協議会に参加するというところでよろしいか。

委員：(了承)

(3) 文化財指定の候補について

(非公開)

5. その他

(非公開)

6. 閉会

事務局：令和元年度第2回四日市市文化財保護審議会を閉会します。ありがとうございました。